

情報公開用文書（市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（他の研究機関への既存試料・情報の提供用）

西暦 2018 年 7 月 25 日作成

研究課題名	次世代医療機器開発へ向けた内視鏡外科手術における暗黙知のデータベース構築
研究の対象	2009 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日間の、S 状結腸癌に対する腹腔鏡下 S 状結腸切除術、もしくは直腸 S 状部癌に対する腹腔鏡下高位前方切除術の症例
研究目的 ・方法	<p>診療技術は日々進歩していますが、その手技を習得するには一定の訓練が必要です。機械（コンピューター）の進歩により、人工知能が診療技術を学習し、医師による診断や治療を補助するシステムを開発する試みが始まっています。内視鏡外科手術領域においても、安全で確実な手術を行うために、人工知能を利用した自動手術補助や、医師の技術を評価するシステムが有用ではないかと考えられています。</p> <p>本研究は、内視鏡外科手術で撮影された手術映像を用いて機械に学習させるために、たくさんの手術映像と病気に関する情報を集め、これを未来の医療機器開発に活用できる形（データベース）にすることを目的とします。</p> <p>当施設で過去に行った内視鏡外科手術の映像とカルテの情報を、患者さんを特定できない形式で集めます。同様に日本中の協力施設からデータを集めることで、人工知能が学習するための質の高い多くの教材を蓄積することになります。</p>
研究期間	西暦 2018 年 8 月 7 日（許可日） ～ 西暦 2019 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	① 手術動画、②手術患者の臨床情報（年齢、性別、身長体重、既往歴、開腹手術歴、手術時間、出血量、術中有害事象、術後在院日数、病理結果、術後 30 日以内有害事象）、③術者・助手・スコピスト背景（年齢、性別、日本内視鏡外科学会 技術認定取得の有無、内視鏡外科手術経験数）
外部への 試料・情報の 提供	<p>外部機関へのデータの提供は、記録媒体（ポータブルハードディスクもしくは DVD）を用いて、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。患者さんを特定し得る情報は当施設において対応表を用いて患者さん個人を特定できない情報に変更された後、厳重に取り扱われます。対応表は、当施設の研究責任者が保管・管理します。</p> <p>研究の成果は学会や論文を通じて公表することがありますが、患者さん個人の情報が公表されることはありません。</p>
研究組織	<p>研究代表者（研究責任者）： 国立がん研究センター東病院 大腸外科 先端医療開発センター 手術機器開発分野 伊藤 雅昭 研究事務局；</p>

	<p>国立がん研究センター東病院 大腸外科 先端医療開発センター 手術機器開発分野 竹下 修由 <u>データ管理責任者：</u> 国立がん研究センター東病院 医療情報部 島田 薫 <u>共同研究者：</u> 国立がん研究センター東病院 臨床支援部門 システム管理室長 青柳 吉博 国立がん研究センター東病院 機器開発コーディネーター室 山本 知生 国立がん研究センター東病院 大腸外科 北口 大地 北里大学医学部 下部消化管外科学 渡邊 昌彦 筑波大学 消化器外科 榎本 剛史 九州大学 先端医療イノベーションセンター 橋爪 誠 名古屋大学大学院 情報科学研究科 森 健策 千葉大学 フロンティア医工学センター 中村 亮一 株式会社 情報医療 原 聖吾 株式会社 情報医療 巢籠 悠輔 <u>協力施設：</u> 横浜市立大学附属市民総合医療センター 渡辺 純 他 73 施設</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター (研究責任者) 渡辺 純 (研究事務局) 福岡 宏倫 電話番号：045-261-5656 (代表) FAX：045-261-9492</p>	